



岐阜大学小児科 西村悟子准教授の「発達障害外来」がはじまりました!!

小児科外来(クリニック別館)にて、2月から発達障害外来をはじめました。言語・運動発達の遅れ、乳幼児の育児、幼児・児童の心理的な症状や行動上の問題等、ご心配なことがありましたらご相談ください。



岐阜大学 小児科
准教授

西村 悟子先生

専門分野

- ▶ 障がい者医療学
- ▶ 小児科一般

資格

- ・日本小児科学会:専門医
- ・日本小児神経学会:専門医
- ・日本小児精神神経学会:認定医
- ・日本リハビリテーション医学会:認定臨床医
- ・リハビリテーション科:専門医

完全予約制

対象年齢 中学3年生まで

診療曜日 第2、第4木曜日

診療時間 14:00～17:00

予約方法

TEL.058-388-0111 より
小児科外来へご連絡をお願いいたします。

※予約受付時間は、月曜日～金曜日の14:00～17:00までになります。

平成29年11月から始まった発達障害外来も今までどおり行います。【予約制】

診療曜日・時間
・水曜日 14:00～16:00
・第1、第3土曜日 9:00～12:00

LDR

LDRとは、陣痛(Labor)、分娩(Delivery)、回復(Recovery)を略した言葉です。その名前のとおり、陣痛が始まってからお産をして、回復するまでの時間を一つの部屋で過ごせます。お産の中で、陣痛が一番ピークの時に分娩室まで移動しなければいけないという辛いところを解消してくれます。また、出産直後も家族と一緒に過ごせるところも特徴の一つです。



産婦人科特集 女性のトータルヘルスケアを目指して

Matsunami Information

NEWS

松波総合病院の3ヵ年ビジョンが発表されました。

平成30年2月13日(火)に松波病院長より松波総合病院の3ヵ年ビジョンが発表されました。合わせて花立クリニック長よりBSC(バランスト・スコアカード)を用いた戦略テーマが発表されました。年明け早々、1月6日(土)、7日(日)、21日(日)に経営幹部および部門長が一同に会し、松波総合病院の3ヵ年ビジョンを元に、戦略テーマをBSCという手法を用いて作成致しました。

3ヵ年
ビジョン

- ・地域包括ケアシステムの要(中心)として、「日本一の民間病院」になる
- ・誇りを持って働ける職場になる
- ・選ばれる病院になる
- ・全職員が志を同じくし、常に「変化」する組織になる

戦略テーマ

- ・安心で信頼される病院になる
- ・魅力ある職場になる
- ・地域住民の健康をサポートする

ビジョンもテーマも今の日本が目指している医療政策に基づき、この地域で実践し得る当院の役割が盛り込まれていると自負しております。特に戦略テーマの一つに掲げている「地域住民の健康サポート」については、筆者である我々広報課が実践している「出張!まつなみ健康塾☆」を皮切りに、地域全体が長く健康に過ごして頂けるよう病院全体で取組んで参ります。どうぞ松波総合病院のこれからの3年間にご期待ください。



f 注目Facebook

キラびとシェア☆シ

当院のリハビリテーション技術士の荒川さんが、日本フットケア学会年次学術集会にて発表されました\(^o^)/
松波のリハビリは、普段は体育会系で楽しい雰囲気なのに、みんな意識が高く、発表も盛んにしています。
いつも勉強熱心で頭が下がります^^;



講演会・セミナーのお知らせ

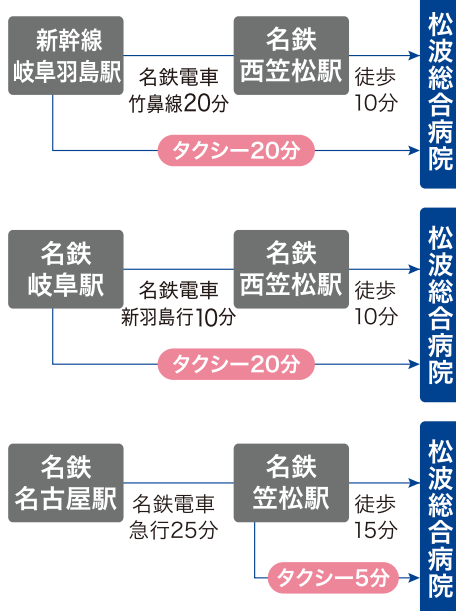
松ゼミ(松波ナースィングスキルアップセミナー)

テーマ 放射線治療による疼痛緩和 / 放射線防護について
日時 平成30年3月22日(木) 17時30分～
場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
講師 がん放射線療法看護認定看護師 藤木 里美

第111回 すこやかネットワーク

日時 平成30年3月14日(水) 19時00分～20時00分
場所 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
テーマ 腸内細菌のお話
講師 松波総合病院 第二消化器内科部長 医師 伊藤 康文

交通のご案内



社会医療法人蘇西厚生会

松波総合病院

〒501-6062

岐阜県羽島郡笠松町田代185-1

TEL 058-388-0111(代)

FAX 058-388-4711

<http://www.matsunami-hsp.or.jp/>



産婦人科特集 | 女性のトータルヘルスケアを目指して



日本専門医機構の専門医制度基幹施設に指定されており、産婦人科すべての疾患に対応しています。病・診および病・病連携を大切にしており、紹介率は3～4割を超えています。周産期領域では、近隣の高次医療機関と得意分野(母体救命救急や合併症妊婦)の棲み分けを行っており、当院では胎児ドックを中心に出生前診断に力を入れています。婦人科腫瘍に対しては、悪性・良性腫瘍を問わず、専門医が十分な時間をかけ、個々の症例の相談にのり、個々のニーズに配慮しながら最適の治療方法を取り入れています。悪性腫瘍化学療法中の性腺保護にも考慮しています。専攻医教育機関であるため、名人芸的な術式を避け、誰でも安全に行える術式を取り入れています。また不妊・内分泌疾患では、一般的な生殖補助医療(体外受精)はもとより、ホルモン不応症では同意のうえ、遺伝子分析を行っています。女性ヘルスケア、とりわけ骨盤臓器脱の管理は根治的な外科的な手法に加え、本人の希望によって保存的療法にも対応している。更年期症候群の非ホルモン療法にも力を入れている。いずれの領域でも、高度先進医療が必要な希有疾患を積極的に受け入れています。医学の発展に寄与することを目的として、希有な症例のみならず、日常的な疾患でも新たな切り口で症例を蓄積・解析し、英文誌への投稿をとおして世界的な視野で疾患を再考する姿勢を養うようにしています。

具体的な症例数は、分娩数(帝王切開を含む)年間210～250件程度、開腹手術(帝王切開および腔式手術は含まない)は100件以上です。そのうち、婦人科悪性腫瘍(浸潤癌)は年間40～50件程度、腹腔鏡下手術は70件程度です。生殖・内分泌では体外受精件数を年間100サイクル程度、早発閉経やTurner症候群など難治症例の排卵誘発も年間10例程度です。骨盤臓器脱の根治術は30～40件程度です。

産婦人科外来は3診(産科、婦人科、紹介)で行っています。妊婦と不妊症患者が遭遇しない配慮がなされています。

産後ケアって知ってますか？

産後ケア(あいいく)とは、出産したお母さんが安心して育児ができるように、助産師が中心になって母と子を守るケアです。松波総合病院では、以前から退院後1週間健診を行ってきましたが、昨年から授乳をしている期間など、長期にわたって産後ケアを実施できるようになりました。母乳についての相談だけでなく、赤ちゃんへの対応がわからなくなって困っているお母さんのために、育児相談も合わせて行っています。そして、病院が開設されている笠松町にお住まいの方には、町から助成金(利用券)が支給されるようになっています。

国の方針として、妊娠から育児までの切れ目のないサポートの必要性が示されています。一生懸命赤ちゃんに向き合おうとしても、多くのお母さん達は手探りで進まなければなりません。育児書などはあるものの、目の前の赤ちゃんにどうしてあげればいいのか、困ってしまう場面も少なからずあります。そんなときに、状況に合わせてアドバイスをしてくれるのが助産師なのです。産後ケアを受診して話をするだけで、たとえ悩みが解決しなくても気持ちの切り替えができることもあります。笠松町は小さな自治体です。小回りの効く行政と協力体制をとることで、さまざまなサポートが可能になります。子育ては何かと悩みが多いものです。ひとりで抱え込まないで、松波総合病院の産後ケアを受診してみませんか。大切な赤ちゃんを病院で、そして地域で守っていきましょう。



平成29年 入院手術実績

診 療	
新患合計	1025件
(内 救急搬送)	(7件)
分娩総数	224件
帝王切開	78件
(内 緊急)	(28件)

手術室手術			
子宮附属器腫瘍摘出術(除茎捻転)	46件	子宮悪性腫瘍手術	24件
(内 腹腔鏡下)	(35件)	卵巣癌(含境界悪性・卵管癌)根治術	7件
子宮付属器茎捻転	6件	子宮頸部円錐切除術	15件
(内 腹腔鏡下)	(2件)	その他の腔式手術	11件
異所性妊娠手術	11件	骨盤臓器脱手術	23件
(内 腹腔鏡下)	(10件)	腹腔鏡手術合計	61件
子宮筋腫核出術	19件	開腹手術合計(除腔式単摘・帝王切開)	100件
(内 腹腔鏡下)	(3件)	子宮頸部高度異形成(含上皮内癌)	15件
腹式単摘	36件	子宮頸癌	8件
腔式単摘	36件	子宮体癌	16件
腹腔鏡下单摘(TLH)	5件	卵巣癌(含境界悪性・卵管癌)根治術	8件

Profile 医師紹介



病院長

松波 和寿

(1983年 東京医科大学 卒業)

専 門 分 野

- ▶ 周産期
- ▶ 不妊症
- ▶ 腫瘍
- ▶ 内分泌
- ▶ 腹腔鏡手術

資 格

- ・日本産科婦人科学会:専門医
- ・母体保護指定医



内分泌臨床研究センター長

今井 篤志

(1979年 岐阜大学 卒業)

専 門 分 野

- ▶ 生殖内分泌
- ▶ 婦人科癌手術

資 格

- ・日本産科婦人科学会:専門医
- ・日本内分泌学会:指導医、専門医
- ・日本婦人科腫瘍学会:専門医
- ・日本生殖医学会:指導医、専門医
- ・日本がん治療認定機構:がん治療認定医
- ・母体保護指定医



産婦人科周産期医療対策室長

川緒 市郎

(1982年 兵庫医科大学 卒業)

専 門 分 野

- ▶ 周産期
- ▶ 画像診断
- ▶ 胎児診断治療

資 格

- ・日本産科婦人科学会:専門医
- ・日本周産期新生児学会:母体胎児暫定指導医



産婦人科第一部長

高木 博

(1986年 北里大学 卒業)

専 門 分 野

- ▶ 周産期
- ▶ 腫瘍
- ▶ 腔式・腹腔鏡手術
- ▶ 骨盤臓器脱手術

資 格

- ・日本産科婦人科学会:専門医
- ・母体保護指定医



産婦人科第二部長

市古 哲

(1989年 岐阜大学 卒業)

専 門 分 野

- ▶ 産婦人科全般
- ▶ 婦人科がん手術

資 格

- ・日本産科婦人科学会:専門医
- ・母体保護指定医

産婦人科 看護師の声

産婦人科病棟では、経験豊富な医師が中心となり、幅広い年齢層の方々の診療にあたっています。そのなかでも、昨年4月より産後ケアを開設し、地域との連携のもと、育児ができる体制を整えています。子育てで困ったことがございましたら、いつでもお気軽にご連絡ください。



病棟副部長 **中森 朋香**